

2020年5月20日掲載、6月9日・6月24日更新

井口桂一先生*（作新学院大学）からのメッセージ

小学校4年生 理科を学ぶ皆さんへ

なんのために理科を学ぶのか？

理科では、身のまわりの自然について観察や実験を行いながら、科学的に問題を解決し

ていくことが大切です。次のような理科のおもしろさを感じてほしいです。

- 自分の目や虫めがねなどの器具を使って自然を見る・・・・・・・・・・ワクワク
- 調べたいものをくらべながら見て、にているところなどをさがす・・ドキドキ
- 実験した結果やこれまでの経験から分かったことを考える・・・・・・・・ナットク

理科を学ぶときに、どんな力を身につけることが大切なのか？

理科で学んでほしいことは、「自然を見る目」や「科学的に考える力」をきたえることです。「身のまわりの自然をよく見る」「実験した結果をくらべたり数字を使って表したりする」「結果から分かったことや生活とのつながりを考える」ことを行なってほしいです。

理科で学ぶことは、もともと「知っている」「見たことがある」ことも多いのではないのでしょうか。しかし、それらは「分かっている」とはちがいます。じっさいに観察や実験を行いながら「分かること」の楽しさをあじわってほしいと思います。

どうやって理科を学べばいいのか？

「子どもたち応援サイト」で紹介されている動画を見るときには、番組を見ながら「はじめて知ったことをメモする」「考えを書く」「見たあとに自然観察をしたり本やインターネットで調べたりしてまとめる」ことが大切です。このことで、番組のないほうがより「分かった」と思えるようになります。

動画では、ふしぎなこと「？」がしめされ考える時間があります。その時は、動画を一時停止にしてふしぎについて考えノートに記録します。動画「一時停止」をつかって、その間に自分の考えをしっかりとまとめることができれば「分かること」につながっていきます。

さらに、はってん的に学ぶには、下のようなことにとりくむのがおすすめです。

◎「生き物」の学習をするばあい

4年生の理科では、1年間にわたって植物や動物の観察をしながら学習を進めていきます。家のまわりの木や草の中から、これから1年間観察をつづけるものを決めて、その植物に集まってくる鳥・虫などもじっくりと観察していくことがおすすめです。教科書には観察記録の方法がのっていますので、それをお手本にして、自分だけの「生き物ずかん」が作れるといいですね。

◎「天気や気温」の学習をするばあい

1日の天気や気温の変化を観察し、天気と気温の関係を調べる学習です。温度計が家にあるなら、朝から夕方までの気温を実際に測り、表に記録するとともに気温データを折れ線グラフに表してみてください。6月ぐらいまでは1日の気温の変化が大きい季節ですから、いろいろな天気の日をグラフを比べてみると、変化のちがいがひと目で分かります。

折れ線グラフの書き方は算数でも学びます。算数の教科書も参考になります。ぜひ、そちらも見てください。

◎「自然の中の水のゆくえ」の学習をするばあい

雨の季節ならではの学習です。雨がふったあとの地面をよく見てみると、川のような水の流れていることがあります。その水の流れを観察してみてください。

観察のポイントは、「水が流れる方向」「水が流れる速さ」「水が流れているまわりの土の様子」などです。「水の流れ」や「水が流れた^{あと}跡」をじっくりと見てみると、今まで気づかなかった発見があったり新たな疑問に気づいたりしますよ。

◎「電気のはたらき」の学習をするばあい

3年生で学習した電気のはってんです。3年生の時との大きなちがいは、かん電池を2こ使うことと電流の流れる向きや大きさを調べることができる「けん流計」を使うことです。教科書のような図を見ると、かん電池の2つのつなぎ方は簡単に見えますが、実際に回路をつなぐことは思ったよりも難しいです。実際に自分で回路を作ってみることにぜひチャレンジしてみてください。また、「けん流計」を使うことで、電流の大きさを数字で表すことや電流の向きを目で確認することができます。教科書によってはQRコードを読み取ることで「けん流計」の使い方動画が出てきます。「NHK for school」にも番組がありますので、ぜひさがしてみてください。家で学ぶときの参考になると思います。

いろいろな回路作りを試しながら、モーターの回る向きや速さを自分の力でコントロールできるようになることを目指してほしいです。

◎「人のからだのつくりと運動」の学習をするばあい

わたしたちは、^{ほね}骨や^{きんにく}筋肉などの体のつくりやそれらを動かす^{ふくざつ}複雑なしくみを使いながら、生活のいろいろな場面で当たり前のように体を動かしています。

この単元では、自分の体をさわる、図書資料・動画や写真・^{もけい}模型などの資料で体のつくりを調べる、調べたことをもとにして実際に自分の体を動かしてみるなど、観察・実験と資料調べをくりかえしながら学習を進めていきます。人以外の動物の体のつくりや体の動かし方についても、インターネットや図書資料、教科書にのっているQRコードなどを使うといろいろな情報が集められます。

かたい骨とやわらかい筋肉のつくりや働きを関係づけながら調べ、体をささえたり動かしたりするしくみを明らかにしていきますが、学習のまとめとして「(自分だけの)人のからだのつくりと運動パンフレット」を作ってみるのもおもしろいです。ぜひ試してみてください。

*井口桂一先生の紹介

宇都宮市内公立小学校教諭，宇都宮大学教育学部附属小学校副校長，栃木市立家中小学校長，宇都宮市立城東小学校長を歴任。栃木県小学校教育研究会理科部会長として，理科指導法の研究に携わってきた。